

京の環境みらい創生事業 採択事業一覧

《平成23年度新規採択事業》

1	申請者	アイ' エムセップ株式会社
	事業テーマ	バイファンクショナル電極を用いた希土類金属選択的回収プロセスの実証
	助成金額	23年度:5,400千円 24年度:2,750千円(予定)
	概要	家電製品の製造に不可欠であるが産出が限られている「希土類金属(レアアース)」をリサイクル回収できる技術を開発し、高効率で低コストなレアアース回収システムを実用化する。
2	申請者	かね井染織株式会社
	事業テーマ	耐熱性ポリ乳酸繊維及び絹交織生地へのデジタル捺染技術の確立
	助成金額	23年度:4,100千円 24年度:2,100千円(予定)
	概要	トウモロコシなどのバイオマスを原料とする「耐熱性ポリ乳酸繊維」に染織可能なインクジェット染料及びインクジェット捺染技術を開発し、環境にやさしい素材を用いた服飾づくりを行う。
3	申請者	京都大学 学際融合教育研究推進センター 地域生存学総合実践研究ユニット
	事業テーマ	企業向け「京都環境経営研修プログラム」事業化事業
	助成金額	23年度:400千円 24年度:2,700千円(予定)
	概要	企業にとって経営上の大きな課題である温室効果ガスの削減について、EUをはじめとする海外企業の動向を踏まえつつ、具体的かつ合理的な削減手法を提示し、事業者向けの研修プログラムを展開する。
4	申請者	株式会社プラスチック工学研究所
	事業テーマ	京都発産業イノベーションと低炭素社会を実現する植物由来プラスチックの新成形加工技術の開発
	助成金額	23年度:3,500千円 24年度:6,400千円(予定)
	概要	トウモロコシなどのバイオマスを原料とするポリ乳酸(植物由来プラスチック)の押出成型技術及び射出成型技術を確立する。特に、一般のポリ乳酸より強度の強い「ステレオコンプレックス型結晶(sc-PLA)」の製造を可能とする成型機器を開発し、日用品でのポリ乳酸の普及を目指す。

《平成22年度新規採択事業》

1	申請者	アクアフェアリー株式会社
	事業テーマ	低炭素社会型携帯燃料電池の使用後廃棄物の更なる削減技術の確立
	助成金額	22年度:3,200千円 23年度:6,800千円
	概要	アクアフェアリー株式会社が実用化に向けて開発を続けている「水素利用型携帯燃料電池」で使用する交換カートリッジの性能を向上させ、環境負荷の低減を図る。
2	申請者	笠井産業株式会社
	事業テーマ	京都発!!省エネ率50%以上を実現する、個人別空調照明システムの実証開発
	助成金額	22年度:3,500千円 平成23年度:1,600千円
	概要	個人の位置の識別によって効果的、効率的な空調や照明を行うとともに、蛍光管をLED化することで、省エネ効果の大きい「個人別空調照明システム」を開発する。総合省エネ率は、従来比50%以上を目指す。

《平成21年度新規採択事業》

1	申請者	株式会社 エックスレイ プレシジョン
	事業テーマ	循環型社会の構築に有効なリサイクル元素分析システムの開発と事業化
	助成金額	平成21年度：4,780千円 平成22年度：2,980千円
	概 要	一般ごみや産業廃棄物の中に含まれるレアメタルを、ごみ処理施設の現場において効果的に分析できる蛍光X線透視分析機器を開発し、レアメタル回収の促進に繋げる。
2	申請者	京セミ株式会社
	事業テーマ	デザイン性に優れた太陽電池による充電機能を備えたランタンの開発
	助成金額	平成21年度：7,900千円 平成22年度：2,000千円
	概 要	京セミが独自に開発した球状太陽電池（登録商標名「スフェラー®」）を用いて、昼間に充電し、夜間に点灯するデザイン性に優れたランタンを製造する。
3	申請者	テイカ精密株式会社
	事業テーマ	切り替え式電源システムによる長寿命・省エネLED蛍光管の開発・製造
	助成金額	平成21年度：4,820千円 平成22年度：4,460千円
	概 要	長寿命の電源システム（切り替え方式）を開発するとともに、LED蛍光灯の樹脂カバーにレンズ機能を付加し照明効率を上げることにより、長寿命で、省電力のLED蛍光管を製造する。
4	申請者	ミヤコテック株式会社
	事業テーマ	環境対応型成形素材開発と市場ニーズに対応できる製法技術確立
	助成金額	平成21年度：5,200千円 平成22年度：4,600千円
	概 要	植物由来原料を用いた梱包用緩衝材等の製造を目指し、「竹粉末」やサトウキビの搾りかすである「バガス」を用いた新たな発泡体製法の確立を進めていく。

《平成20年度新規採択事業》

1	申請者	特定非営利活動法人 きょうと京北バイオマス・デザイン
	事業テーマ	間伐材から複合ペレットの生産と燃焼灰から複合肥料を提供することにより、資源の戦略的利活用と地域循環システムの構築を図る。
	助成金額	20年度：6,000千円 21年度：2,720千円
	概 要	右京区京北において、間伐材の木と竹を用いた複合ペレットを生産し、焼却後、その焼却灰から複合肥料等を生産し、地元農業等に活用する。
2	申請者	太田建工株式会社
	事業テーマ	下水汚泥の炭化物を使ったダンボール式植栽基盤による緑化事業
	助成金額	20年度：6,000千円 21年度：4,000千円
	概 要	下水汚泥を主原料とした軽量かつ機能性の高い芝生マットを製造し、屋上緑化など幅広い利用を促進し、ヒートアイランドの緩和を図る。

《平成19年度新規採択事業》

1	申請者	ウインドナビ株式会社
	事業テーマ	CO2排出量を削減する店舗向け省エネ空調換気装置の実用化モデルへの改良
	助成金額	19年度：2,700千円 20年度：5,400千円
	概 要	排気誘導装置を飲食店舗仕様に改良・導入することにより、空調ロスを低減させ、民生部門中小企業の省エネ及び地球温暖化防止を図る。
2	申請者	3R検定実行委員会
	事業テーマ	京都発、世界へ向けた「3R検定」の企画
	助成金額	19年度：3,000千円 20年度：6,000千円
	概 要	3R（Reduce：発生抑制、Reuse：再利用、Recycle：再資源化）を中心に、ごみ減量手法、循環型社会構築及び廃棄物管理に資する知識を問う検定を企画する。
3	申請者	株式会社玉井道路
	事業テーマ	廃石膏ボードと廃瓦を活用した、中性無害な高保水性土舗装の実用化研究開発の実施
	助成金額	19年度：2,440千円 20年度：5,800千円
	概 要	廃棄物となった石膏ボードと瓦の粉碎加工品を土舗装材として再資源化し、中性無害の環境に優しい土舗装を実現させる。
4	申請者	京都2Rシステムプロジェクト
	事業テーマ	2R型飲料供給システムの構築と普及・拡大事業
	助成金額	19年度：2,270千円
	概 要	2R（Reduce：発生抑制、Reuse：再利用）に繋がるライフスタイルを広めるため、安価なリユースボトル（マイボトル）を開発する。